

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年3月 回答数 9人/12人

事業所名: 東大和市立やまとあけぼの学園

区分		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	4	活動内容や訓練等の関係でスペースが活用できないことがある。面談も場所を工夫して行っている。	施設の改修は困難であるが、令和6年度新設される児童発達支援センターに事業が引き継がれ、適切なスペースの確保等施設の改善が図られる。
	2	職員配置数は適切である	2	7		配置基準は満たしているが、専門職の補充が困難。療育の充実のため、良好な体制の整備に努める。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	5	建物・施設が古くバリアフリーになっていないので、工夫して使用している。	施設の改修は困難であるが、事業を引き継いで新設される児童発達支援センターではバリアフリー化など施設の改善が図られる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	4		老朽化は目立つが、活動しやすいように工夫し、快適な空間になるよう努めている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2	未回答:1	療育会議やグループ打合せなどで目標設定や振り返りを行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1	未回答:2	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	未回答:2	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5	未回答:2	第三者による外部評価については、現状では費用負担があり、導入に至っていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1	未回答:1	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	未回答:1	
	11	子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	未回答:2	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	1	未回答:1	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	1	未回答:1	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	未回答:1	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	未回答:1	

区分		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる	7	1	未回答:1	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	未回答:1	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	1		
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	1		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画している	7	1	未回答:1	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	0	未回答:2	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	1	※現在、医療的ケアが必要な児童はいない。 未回答:3	関係機関との連携は保護者を介して行っている。必要に応じて関係機関に直接連絡をとって連携を図る場合がある。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	0	※現在、医療的ケアが必要な児童はいない。 未回答:4	主治医等との連絡調整は、保護者を介して行っている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	未回答:1	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	未回答:1	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	未回答:2	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修の機会が減少した。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	9		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	3	未回答:2	発達障害者支援連絡会、要保護児童対策地域協議会に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	2	未回答:1	機会をとらえて児童の状況を話し合い、共通理解を持つ。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	1	未回答:3	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保護者参観など個別に実施した。

区分		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	未回答:1	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	1	未回答:1	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	未回答:1	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	1	未回答:1	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参観・懇談など個別に実施した。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	未回答:2	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1	毎月園便りを発行し、行事予定等周知している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	1		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0		
非常時などの対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	3	未回答:1	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、あけぼの祭りは縮小(在園児と保護者のみでグループごとに祭りの遊びを行う)して実施した。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	2		各種マニュアルを整備し、職員・保護者に周知して訓練を実施したい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	毎月、火災あるいは地震を想定した避難訓練を実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこのどもの状況を確認している	8	0	未回答:1	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	未回答:2	医師の指示書に基づいて、代替食等の対応をしている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	4	未回答:2	職員の毎日の打合せ時に注意の必要な事例、気になった事例等の報告、対策の検討を行い、共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	未回答:2	研修に積極的な参加する。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	3	未回答:3	身体拘束については実施したことはなく、想定もしていない。必要な事態が生じた場合は保護者に説明し、了解を得た上で対応する。	